

Uni Bio Press セミナー

「生物系ジャーナルの挑戦—より明確に、より広く、その情報を伝えるために」

主 催 Uni Bio Press

共 催 国立情報学研究所・公私立大学図書館コンソーシアム・京都大学附属図書館（西日本会場）

後 援 国立大学図書館協会・日本哺乳類学会・日本哺乳動物卵子学会・日本動物学会・日本古生物学会

日本鳥学会・日本爬虫両棲類学会・CSAジャパン

UniBio Pressは日本の生物系学協会が刊行する学術論文誌を電子ジャーナルとして集成的に国内外の研究機関に提供するための刊行主体であり、また同時に電子ジャーナルパッケージそのものの名称でもあります。日本の学術雑誌においては、電子ジャーナルパッケージ販売は、商業出版社による巨大パッケージの中の1タイトルとしての形式が一般的ですが、UniBio Pressは、最大20タイトルの生物系ジャーナルパッケージを目指し、そして個々のジャーナルの存在が、日本発の生物系ジャーナルとして、生物学分野の研究者により明確にその情報が届くことを活動目標のひとつとしています。

2007年1月2日より、米国SPARCの支援のもとに立ち上げられたBioOneとの連携がなり、UniBio PressはBioOne.2に参画し、海外図書館購読に向けて、あらたな活動を開始しました。生物系学会ジャーナル出版に携わられる皆様、UniBioへの参画をお待ちしています。

本日は、BioOne-UniBio Press連携協調を記念したセミナーですが、SPARC/JAPANを推進する、国立情報学研究所教授、学術基盤推進部長である安達淳先生からのご講演と、ゲストスピーカーとして、トムソンサイエンティフィック・シニアインフォメーションアナリストである宮入暢子氏より、UniBio Press参画ジャーナルを中心にして、生物系ジャーナルのパフォーマンスに関して、興味深い解析を行って頂きます。

UniBio Press CEO
永井 裕子

日 時 場 所

○東日本会場
平成19年5月15日(火) 13:10-16:50 (12:40受付開始)
国立情報学研究所 12階会議室
東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター
○西日本会場
平成19年5月17日(木) 13:10-16:50 (12:40受付開始)
京都大学附属図書館 A Vホール
京都市左京区吉田本町

プログラム

12:40 受付開始
13:10-13:15 開会挨拶
 ○東日本会場
 日本古生物学会 会長
 北里 洋
 ○西日本会場
 日本動物学会 会長
 佐藤 矩行
13:15-14:00 「SPARC/JAPANの歩みと展望」
 国立情報学研究所
 教授・学術基盤推進部長
 安達 淳
14:00-15:00 「BioOneの活動について」(逐次通訳)
 BioOne
 Executive Director and Chief Operating Officer
 Susan Skomal
15:10-15:30 「UniBioPress—日本のジャーナルを世界へ」
 Uni Bio Press CEO
 日本動物学会 事務局長
 永井 裕子
15:30-16:30 「引用データから見た生物系電子ジャーナル-UniBioPressを例に」
 トムソンサイエンティフィック
 アジア・パシフィック
 シニアインフォメーション アナリスト
 宮入 暢子
16:30-16:50 質疑応答、意見交換
16:50 閉会



BioOne

21 Dupont Circle, Suite 80
Washington, D.C., 20036, USA
Ph: 202-296-2296 FAX: 202-872-0884



NPO法人 UniBio Press

〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-2
東真ビル3階
Tel: 03-6809-7636